

## 基本計画部会第2ワーキンググループ 審議結果報告の構成(案)

現行基本計画	次期基本計画の「基本的考え方(第2WG分)」	
<p>第2 公的統計の整備に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策</p> <p>2 統計相互の整合性及び国際比較可能性の確保・向上に関する事項</p> <p>(3) 福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備</p> <p>(4) 医療費に関する統計の国際比較可能性の向上</p> <p>3 社会的・政策的なニーズの変化に応じた統計の整備に関する事項</p> <p>(2) 少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に 対応した統計の整備 (ジェンダー統計)</p> <p>(3) 暮らし方の変化に対応した統計の整備</p> <p>(4) 教育をめぐる状況変化等に対応した統計の整備</p> <p>⑤ (7) グローバル化の進展に対応した統計の整備 → 削除</p> <p>(8) 企業活動の変化や働き方の多様化等に対応した労働統計の整備</p> <p>第2-2-(7) 統計基準の設定…「従業上の地位」 第2-3-(8) 就業形態及び雇用形態に関する用語の分類 や</p> <p>⑧ (9) その他</p>	<p>第1 施策展開に当たっての基本的な視点</p> <p>・ジェンダー統計、各歳別表章への対応を記述</p> <p>第2 公的統計の整備</p> <p>(1) 社会保障全般に関する統計の充実</p> <p>・社会保障費用統計の充実</p> <p>・医療、福祉、介護関係の調査体系の全体像の整理</p> <p>・OECDにおけるSHA改定への関与</p> <p>(2) 人口減少社会に対応した統計の充実</p> <p>・国民生活基礎調査の試験調査の実施</p> <p>・社会生活基本調査の国際比較</p> <p>・21世紀出生児縦断調査の今後のあり方</p> <p>・国勢調査の実施</p> <p>・現在推計人口の基幹統計化</p> <p>(3) 教育をめぐる状況変化等に対応した統計の整備</p> <p>・児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の 比較性向上策の充実</p> <p>・学校教育段階から就職段階までの追跡調査の検討</p> <p>・子どもの学習費調査の調査事項の充実</p> <p>・社会教育調査の見直し</p> <p>(4) 企業活動の変化や働き方の多様化等に対応した労働統計の整備</p> <p>・同一企業内の雇用形態転換の検証</p> <p>・労働力調査の国際比較</p> <p>・労働者の区分等の見直し</p>	<p>③(ジェンダー)</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>

共に背景事情が密接に関連した項目であることから、「福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備」及び「医療費に関する統計の国際比較可能性の向上」については、「社会保障全般に関する統計の充実」として統合、「少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備」及び「暮らし方の変化に対応した統計の整備」については、「人口減少社会に対応した統計の充実」として統合する。